

農業に関する学科		★		★★	★★★	関連する 主な科目	
		基礎	標準	応用	発展		
ねらい		・農業及び環境に関する基礎的・基本的な技術・技能の習得		・農業の各分野に関する基礎的・基本的な技術・技能の習得 ・農業の社会的意義や役割について理解し、地域の産業・社会を担う人材に必要な技術・技能の習得 ・望ましい勤労観・職業観などの育成	・将来のスペシャリストに必要な技術・技能の習得 ・農業に関する諸問題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決できる人材の育成	・将来のスペシャリストに必要な技術・技能の習得 ・持続的かつ安定的な農業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を身に付け、農業の六次産業化やグローバル化に対応できる人材の育成	
共通	課題を探究し解決する力 自ら考え行動し適応していく力 コミュニケーション能力	111 課題解決学習	11 与えられた課題を解決することができる。	21 自ら課題を発見し、自分の力で解決することができる。	31 農業や環境に関する地域の課題を発見し、様々な人と相談・協力して解決を図ることができる。	41 研究成果を農業の充実や地域社会の発展などに役立てることができる。	
		112 レポートの作成など	11 実験・実習の経過を適切に記録することができる。	21 実験・実習の記録を報告書にまとめることができる。	31 実験・実習の成果を論文としてまとめることができる。		
		113 発表	11 自分の意見や考えを、言葉や図表などを用いて他人に確実に伝えることができる。 12 グループ内やクラス内で発表することができる。	21 課題研究の成果と課題などについて、図、グラフなどを活用した、効果的なプレゼンテーション資料を作成し、発表することができる。 22 学年集会や全校集会など学校内で発表することができる。	31 課題研究の成果や課題などについて、冊子やインターネットなどにより、地域や企業、生産者などに向けて発信することができる。 32 農業クラブ・プロジェクト発表会(東京都大会)などに出場し、発表できる力を備えている。	41 課題研究の成果や活動報告などについて、農業や環境の作文・論文コンクールや専門誌などに応募できる力を備えている。 42 農業クラブ・プロジェクト発表会(関東大会・全国大会)などに出場し、発表できる力を備えている。	
	望ましい勤労観や職業観、規範意識などに根ざした実践力	121 就業体験など	11 校外学習や就業体験などを通して、望ましい勤労観・職業観を身に付けることができる。		31 就業体験などを通して、高い勤労観・職業観や実践的な技術・技能を身に付けることができる。		農業と環境 課題研究 総合実習 農業情報処理
		122 企業・地域との連携	11 各科目において習得した技術を生かして、企業・地域・学校等との交流や研究活動などに取り組むことができる。		31 企業や地域と連携した研究活動などにおいて、身に付けた技術を地域などに還元することができる。	41 企業や地域と連携した研究活動などを通して、開発した商品を販売することができる。	
		123 安全への配慮	11 農機具(鋏、鎌、ハサミなど)や実験器具(ビーカー、試験管など)を安全に扱うことができる。 12 実習服の正しい着用や実習室等の整理整頓など、安全に配慮した実験・実習ができる。		31 農機具や実験器具などを安全に扱うための点検やメンテナンスができる。		
		124 環境への配慮	11 実験・実習により発生した廃棄物などについて、環境汚染の防止と資源の再利用などに留意して、適切に処理することができる。				
		125 法令の順守など	11 関連する法規などに従い、実験・実習を行うことができる。		31 農薬を正しく使用できる。		
	情報やコンピュータの活用	131 情報の収集・活用	11 書籍やインターネットなどから有用な情報を収集することができる。	21 個人情報や知的財産の保護などに留意し、情報を活用することができる。	31 有用な情報を地域に発信することができる。	41 地域から発信された有用な情報を活用した研究活動を通して、地域の活性化などに役立てることができる。	
		132 コンピュータの活用	11 文書作成ソフトや表計算ソフトを活用して、文書の作成や基本的な表及びデータに適したグラフの作成ができる。	21 プレゼンテーションソフトを活用して発表用スライド・資料を作成することができる。	31 様々なソフトを活用して効果的なプレゼンテーションを行うことができる。		
農業・環境	141 農業生産の基礎	11* 主な農業生物(キュウリ、ダイコン、など)について、生育段階に応じた栽培・飼育ができる。					
	142 環境調査	11 身近な環境調査(植生調査など)ができる。 12 計測器や試薬を用いて、土壌や水のpHなどを測定できる。					

		★		★★	★★★	関連する 主な科目
		基礎	標準	応用	発展	
220 野菜	11 たねまきや植えつけ前の畑の準備(施肥、耕うん、うね立て、マルチングなど)を行うことができる。 12 たねまきや植えつけを適切に行うことができる。 13 かん水、間引き、除草、中耕、土寄せ、追肥、剪定、摘花、摘果、害虫の捕殺などの栽培管理を行うことができる。	21 主な野菜(トマト、ナス、ハクサイ、キャベツなど)の栽培ができる。 22 施肥量の計算ができる。 23 液肥の希釈ができる。 24 主な病害虫の同定ができる。 26 小型耕うん機の操作ができる。	31 高度な技術を必要とする野菜(メロンなど)の栽培ができる。 32 相場や経費などから生産物の価格を算出することができる。 33 輪作、接木苗、防虫網などを用いて、耕種的及び物理的防除ができる。	41 トラクターの操作ができる。 42 野菜に関する商品開発ができる。	農業と環境 課題研究 総合実習 野菜	
230 果樹	11 果実の収穫期を正しく判断し、果実を適切に収穫できる。 12 栄養繁殖(挿し木、接ぎ木など)で果樹を増殖できる。 13 *果樹の開花特性を理解し、枝を適切に剪定できる。	21 主な果樹(ウメ、クリ、カキなど)の栽培ができる。 23 主な病害虫の同定ができる。 24 果実の大きさや重さを揃えて調整ができる。	31* 高度な技術を必要とする果樹(ブドウなど)の栽培ができる。 32 相場や経費などから生産物の価格を算出できる。 33 輪作、接木苗、防虫網などを用いて、耕種的及び物理的防除ができる。	41 * 果樹に関する商品開発(干し柿など)ができる。 42 * 都市生活でも栽培可能な果樹(ブルーベリー、パッションフルーツ、ドラゴンフルーツ、ジャボチカバ、バナナ、キウイフルーツ、イチジクなど)の栽培ができる。	課題研究 総合実習 果樹	
240 草花	11 サルビアやマリーゴールドなどの花壇用草花の栽培ができる。 12 花壇用草花を用いて花壇を制作することができる。 13 栄養繁殖(株分け、挿し木、取り木など)で草花を増殖できる。	21* 主な草花(プリムラ、カーネーション、キクなど)の栽培ができる。 22 液肥やわい化剤の希釈ができる。 23 カーネーション、小菊及びその他の花材を使用してコサージュを作成することができる。	31* 高度な技術を必要とする草花(シクラメン、バラなど)の栽培ができる。 32 観賞用植物の維持管理ができ、室内園芸装飾に関する技術を身に付けている。 33 ラウンド、トライアングュラ、ホリゾンなどのフラワーアレンジメントができる。	41 高度な技術を必要とする盆栽・草花(仕立て菊、ラン類など)の栽培ができる。 42 フリースタイルや顧客の要望に応じたフラワーアレンジメントができる。 43 草花に関する商品開発ができる。	課題研究 総合実習 草花 園芸デザイン	
250 植物バイオテクノロジー	11 培地の調整ができる。 12 無菌操作ができる。	21 器官培養や茎頂培養ができる。	31 胚培養ができる。 32 希少植物を培養し、増殖できる。	41 バイオテクノロジーを用い、新品種の作出ができる。 42 細胞融合ができる。	バイオと緑化 植物バイオ テクノロジー 総合実習	

		★		☆☆	☆☆☆	関連する 主な科目
		基礎	標準	応用	発展	
環境系	510 樹木管理	11 樹木の基本的な管理ができる。 12 草本類の栽培管理ができる。 13 刈り込み作業ができる。	21 樹木の樹形を維持するための剪定・整枝ができる。 22 樹木の移植ができる。	31 樹木の種類や目的に応じた剪定・整枝ができる。		課題研究 総合実習 造園技術 測量 バイオと緑化
	520 造園施工	11 主な道具を適切に使用できる。 12 主な造園材料を適切に利用できる。	21 竹垣を施工することができる。 22 延段、つくばいなどを施工することができる。	31 庭園を設計図どおりに施工することができる。	41 庭園を設計し、計画どおりに施工することができる。 42 * 造園コンテストに出展できる。	
	530 測量	11 平板測量を行うことができる。	21 測量したデータをもとに、平面図を作成できる。 22 細部測量を行うことができる。	32 * 水準測量を行うことができる。		
	540 製図	11 製図用具を正しく使用し、線や造園記号を書くことができる。 12 平面図を作成できる。	21 透視図を作成できる。 22 庭園を設計できる。	31 CADシステムを活用して図面を描くことができる。	41 造園デザインコンクールで入賞できる。	

農産高校園芸デザイン科 技能スタンダードⅡ

様式1-Ⅱ

農業に関する学科	A	B	C	参考
	全ての生徒に目指させる	多くの生徒に目指させたい	学校によって又は生徒の関心によって取り組む	さらに深めたい場合
10 園芸系	日本農業技術検定3級 ☆	技能検定(フラワー装飾)3級 ☆ 初級バイオ技術者認定試験 ☆ * マミフラワーデザインスクール基礎科修了 * 技能検定(造園)3級 ☆	技能検定(園芸装飾)3級 ☆ * 技能検定(フラワー装飾)2級 ☆ 日本農業技術検定2級 ☆☆ * 危険物取扱者乙種第4類 ☆☆ * 技能検定(造園)2級 ☆☆ * トレース技能検定試験3級 ☆	* トレース技能検定試験2級 ☆☆ * (小型)車両系建設機械運転特別教育 * 玉掛け(1t未満)・クレーン運転(1t未満)特別教育

(注)技能スタンダードⅠ(技術・技能編)の☆～☆☆☆の学習等を踏まえ、技能スタンダードⅡ(資格・検定編)の各資格・検定(☆～☆☆☆)の学習を通して、知識・技術・技能の定着、実践力の深化を図る。

農業に関する学科		★		★★	★★★	関連する 主な科目	
		基礎	標準	応用	発展		
ねらい		・農業及び環境に関する基礎的・基本的な技術・技能の習得		・農業の各分野に関する基礎的・基本的な技術・技能の習得 ・農業の社会的意義や役割について理解し、地域の産業・社会を担う人材に必要な技術・技能の習得 ・望ましい勤労観・職業観などの育成	・将来のスペシャリストに必要な技術・技能の習得 ・持続的かつ安定的な農業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を身に付け、農業の六次産業化やグローバル化に対応できる人材の育成		
共通	課題を探究し解決する力 自ら考え行動し適応していく力 コミュニケーション能力	111 課題解決学習	11 与えられた課題を解決することができる。	21 自ら課題を発見し、自分の力で解決することができる。	31 農業や環境に関する地域の課題を発見し、様々な人と相談・協力して解決を図ることができる。	41 研究成果を農業の充実や地域社会の発展などに役立てることができる。	
		112 レポートの作成など	11 実験・実習の経過を適切に記録することができる。	21 実験・実習の記録を報告書にまとめることができる。	31 実験・実習の成果を論文としてまとめることができる。		
		113 発表	11 自分の意見や考えを、言葉や図表などを用いて他人に確実に伝えることができる。 12 グループ内やクラス内で発表することができる。	21 課題研究の成果と課題などについて、図、グラフなどを活用した、効果的なプレゼンテーション資料を作成し、発表することができる。 22 学年集会や全校集会など学校内で発表することができる。	31 課題研究の成果や課題などについて、冊子やインターネットなどにより、地域や企業、生産者などに向けて発信することができる。 32 農業クラブ・プロジェクト発表会(東京都大会)などに出場し、発表できる力を備えている。	41 課題研究の成果や活動報告などについて、農業や環境の作文・論文コンクールや専門誌などに応募できる力を備えている。 42 農業クラブ・プロジェクト発表会(関東大会・全国大会)などに出場し、発表できる力を備えている。	
	望ましい勤労観や職業観、規範意識などに根ざした実践力	121 就業体験など	11 校外学習や就業体験などを通して、望ましい勤労観・職業観を身に付けることができる。		31 就業体験などを通して、高い勤労観・職業観や実践的な技術・技能を身に付けることができる。		農業と環境 課題研究 総合実習 農業情報処理
		122 企業・地域との連携	11 各科目において習得した技術を生かして、企業・地域・学校等との交流や研究活動などに取り組むことができる。		31 企業や地域と連携した研究活動などにおいて、身に付けた技術を地域などに還元することができる。	41 企業や地域と連携した研究活動などを通して、開発した商品を販売することができる。	
		123 安全への配慮	11 農機具(鋏、鎌、ハサミなど)や実験器具(ビーカー、試験管など)を安全に扱うことができる。 12 実習服の正しい着用や実習室等の整理整頓など、安全に配慮した実験・実習ができる。		31 農機具や実験器具などを安全に扱うための点検やメンテナンスができる。		
		124 環境への配慮	11 実験・実習により発生した廃棄物などについて、環境汚染の防止と資源の再利用などに留意して、適切に処理することができる。				
		125 法令の順守など	11 関連する法規などに従い、実験・実習を行うことができる。		31 農薬を正しく使用できる。		
	情報やコンピュータの活用	131 情報の収集・活用	11 書籍やインターネットなどから有用な情報を収集することができる。	21 個人情報や知的財産の保護などに留意し、情報を活用することができる。	31 有用な情報を地域に発信することができる。	41 地域から発信された有用な情報を活用した研究活動を通して、地域の活性化などに役立てることができる。	
		132 コンピュータの活用	11 文書作成ソフトや表計算ソフトを活用して、文書の作成や基本的な表及びデータに適したグラフの作成ができる。	21 プレゼンテーションソフトを活用して発表用スライド・資料を作成することができる。	31 様々なソフトを活用して効果的なプレゼンテーションを行うことができる。		
農業・環境	141 農業生産の基礎	11* 主な農業生物(ダイズ、ダイコンなど)について、生育段階に応じた栽培ができる。					
	142 環境調査	11* 身近な環境調査(草本調査など)ができる。					

		★		☆☆	☆☆☆	関連する 主な科目
		基礎	標準	応用	発展	
食品系	410食品製造	11* クッキー、ジャム類、マヨネーズなどの食品を安全に製造、製品化することができる。	21* 発酵パン、スポンジケーキ、豆腐、シラップ漬け、ヨーグルト、饅頭を安全に製造、製品化することができる。	31* 食パン、ケーキ、マーマレード、ケチャップ、餡、を安全に製造、製品化することができる。 32* ソーセージ、ワイン、を安全に製造、製品化することができる。	42* 企業、地域と連携して6次産業化を生かした商品開発ができる。 43 原価計算、価格設定、製造工程の見直しなどの課題を解決しながら商品化の研究をすることができる。	課題研究 総合実習 食品製造 食品流通
	420食品化学	11* 炭水化物、タンパク質、ミネラルの定性実験ができる。 12中和滴定により有機酸を定量することができる。 13* ピペット類、フラスコ類などの実験器具を正しく操作できる。	21* 食品の6成分の一部(タンパク質、脂質、炭水化物)の定量実験ができる。 22試薬の調製ができる。	31 分析機器を使用した食品成分の定量ができる。	41 定量分析実験の結果を踏まえて、新たな製品を作ることができる。	課題研究 総合実習 食品化学
	430微生物利用	11 光学顕微鏡の正しい操作ができる。 12 微生物の移植、培養ができる。 13 微生物の観察ができる。	21 食品・自然界から微生物の分離・培養ができる。	31 微生物の代謝生産物に関する実験ができる。	41 微生物の同定実験ができる。	課題研究 総合実習 微生物利用

都立農産高等学校食品科 技能スタンダードⅡ

様式1-Ⅱ

農業に関する学科	A	B	C	参考
	全ての生徒に目指させる	多くの生徒に目指させたい	学校によって又は生徒の関心によって取り組む	さらに深めたい場合
30 食品系	日本農業技術検定3級 ☆	リテールマーケティング(販売士)検定3級 食品衛生責任者講習 ☆	食生活アドバイザー3級 危険物取扱者乙種第4類 ☆☆	食生活アドバイザー2級

(注)技能スタンダードⅠ(技術・技能編)の☆～☆☆☆の学習等を踏まえ、技能スタンダードⅡ(資格・検定編)の各資格・検定(☆～☆☆☆)の学習を通して、知識・技術・技能の定着、実践力の深化を図る。